

シママングース (*Mungos mungo*) に関する情報 (案)

○原産地：サハラ以南のアフリカ（コンゴ及び南西アフリカを除く地域）

○定着実績：国内外での定着事例は知られていない。

○評価の理由

- ・ 雑食性であり、野外に放逐されれば在来の地表性昆虫類を中心に捕食され得ることから、生態系への被害のおそれがある。
- ・ 鶏卵、鶏雛に対する養鶏被害や、農作物への被害のおそれがある。
- ・ 幅広いハビタットに生息することや国内の動物園における飼養実績等から、野外での定着の可能性は大きい。また、一度に1～6仔（平均1腹産仔数は3.2）を出産し、年に複数回の出産が可能であることから、潜在的な個体数の増加速度が大きい。

○被害の実態・被害のおそれ

（１）生態系に係る被害

- 雑食性で、地表性昆虫類を中心に鳥類の卵、ネズミ、カエル、トカゲ、小型のヘビなども捕食しており、生態系への被害が発生するおそれがある（文献①②③）。
- 近縁種のジャワマングースでは、奄美大島・沖縄島で希少な在来生物が捕食される被害が生じている。

（２）農林水産業に係る被害

- 果樹を餌資源として利用するため、農作物への被害が発生するおそれがある（文献①）。
- 近縁種のジャワマングースでは、鶏卵、鶏雛に対する養鶏被害や、農作物への被害が報告されている。

○影響をもたらしている要因

（１）生物学的要因

- 食性は昆虫類主体であるが、昆虫類以外にも両生類、爬虫類、鳥類、哺乳類も捕食する（文献①③⑥）。
- 寿命は飼育下では12年程度である（文献①）。
- 群れの中で複数のメスが繁殖に参加できること、性成熟までに最短で8ヶ月であること、一度に1～6仔（平均1腹産仔数は3.2）を出産し、年に複数回の出産が可能であることから、繁殖力は大きい（文献①）。

（２）社会的要因

- これまでの輸入および国内での流通は動物園での飼養に限られる。
- しつけが容易で、ペットとして適当であるとされている（文献②）。

○特徴ならびに近縁種、類似種などについて

- 頭胴長 30－40cm。尾長 20－25cm、体重が 1－1.5kg の中型肉食獣。6－最大 75 頭からなる家族を中心とした群れを形成する。昼行性で、38－130ha 程の行動範囲を徘徊して採食する。行動範囲の中に複数の巣穴をもつ（文献①③⑥）。また、低木の茂みの下などに巣穴を掘ることから、定着した場合には発見や防除が困難となるおそれがある（国内）。
- マングース科に属するジャワマングース *Herpestes javanicus*、エジプトマングース *H. ichneumon*、ハイイロマングース *H. edwardsi* は、他地域に導入され、在来生態系に影響を与えている（文献④）。
- 幅広いハビタット選好性を有し、サバンナや林地、草地、川辺を主な生息地とする。人里でも見られる場合がある（文献①）。
- 群れの分散は、オスまたはメスのみの小グループを単位として起こる。分散する個体に性の偏りは見られないが、メスは群れから追われ、オスは自発的に移出する傾向がある（文献①）。

○その他の関連情報

- 現在 2 箇所の動物園がシママングースを飼養しており、牛肉、馬肉、鳥肉の頭・首、ヒヨコ、ウズラのひな、マウス、卵、サツマイモ、リンゴ、ドッグフード等をエサとして与えている（国内）。
- 繁殖を抑えるために、皮下に避妊薬を挿入して飼養した動物園がある（国内）。
- タンザニアから日本に持ち込まれたシママングースから、原虫クリプトスポリジウムが検出された報告がある（文献⑤）。

○主な参考文献

- ① Don E Wilson and Russell A Mittermeier. 2009. Handbook of the Mammals of the World. Vol.1/ Carnivores. Lynx Edicions. Barcelona. 727pp.
- ② H E Hinton and A M S Dunn. 1967. MONGOOSES. Oliver & Boyd. London. 144pp.
- ③ 今泉吉典監修. 1991. 世界の動物/分類と飼育 2 食肉目. 財団法人東京動物園協会. 東京. 235pp.
- ④ John L Long. 2003. Introduced Mammals of the World. 589pp. CABI Publishing.
- ⑤ N Abe, K Takami and M Iseki. 2004. Molecular characterization of a Cryptosporidium isolate from a banded Mongoose *Mungos mungo*. The Journal of Parasitology. 90

(1) 167-171.

- ⑥ 上野俊一・岡田節人・小原秀雄・河合雅雄・吉良竜夫・日高敏隆監修. 1994. 週刊朝日百科動物たちの地球第9巻（哺乳類Ⅱ）. 朝日新聞社, 東京.